

# NEWSWAVE

～ 新しい時代を切り拓く実践経営情報紙 ～

発行

(株)本宮会計センター

〒969-1169

福島県本宮市本宮字小原田 2 0 0 - 2

TEL 0243-33-5535 FAX 0243-33-4467

## 法人の黒字申告割合は4年連続増加 申告所得金額総額は過去最高を記録

国税庁が発表した 2014 年度の法人税の申告事績によると、今年 6 月末現在の法人数は前年度から 0.4% 増の 301 万 9 千法人で、うち 2014 年度内に決算期を迎え今年 7 月末までに申告した法人は、同 0.8% 増の 279 万 4 千法人だった。

その申告所得金額は同 9.7% 増の 58 兆 4433 億円、申告税額の総額も同 2.1% 増の 11 兆 1694 億円と、ともに 5 年連続の増加。申告所得金額の総額は過去最高を記録した。

この結果、法人の黒字申告割合は、前年度に比べ 1.5 ポイント上昇して 30.6% となり、4 年連続の増加となった。黒字申告割合が 3 割を超えたのは、リーマン・ショック前の 2007 年度以来 7 年ぶり。もっとも、法人の黒字申告割合は、過去最高だった 1973 年度(65.4%)の半分にも満たない低い数字が、1993 年度から 22 年も続いていることになり、黒字申告割合は低水準が続いている。

5 年連続の増加となった黒字法人の申告所得金額は、黒字申告 1 件あたりでは前年度に比べて 3.1% 増の 6826 万円となった。一方で、申告欠損金額も同 13.2% 増の 14 兆 4553 億円、赤字申告 1 件あたりの欠損金額も同 14.8% 増の 746 万円と、ともに増加しており、企業業績に明暗があることがうかがえる結果となった。

ちなみに、申告所得金額のピークは 2006 年度の 57 兆 828 億円、申告欠損金額のピークは 1999 年度の 33 兆 2791 億円だ。

## 健康経営銘柄は企業価値創造の新手 経産省 ヘルスケア産業に積極性

経済産業省は 9 月末、2015 年度の「健康経営度調査」の調査案内を発送した。これが今年春に「経産省がヘルスケア産業の積極的な推進か？」と話題を呼んだ「健康経営銘柄 2016」(仮称)選定のための評価データ収集である。

健康経営とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、結果的に業績・株価向上につながるとし、今年 3 月、初の「健康経営銘柄」として、22 社が選定された。対象は東証上場企業のみで、100 問にも及ぶ質問用紙を 3500 通送付し約 400 通の回答を得た。ゆくゆくは非上場企業も対象にしたい構想を持っている。企業の関心を集めたのは、経産省が厚労省他、他省などとの接点または越境を承知でヘルスケア産業創案を宣言したからだ。同省幹部の「ベンチャービジネス創出くらいの気持ちで取り組む」という話を聞いた大手企業は、経産省の健康投資効果の具現化や公的規制のグレーゾーン解消の可能性を感じ取ったにちがいない。経産省も医療費抑制などの課題は他省と一蓮托生だが、今度の経産省の意気込みは「買い」だ。

経産省は上場企業が、いわば顧客だ。その顧客の企業価値創造の最大化を図るのは責務だ。しかし財務バランスに長年苦しむ大手健康保険組合の健全化に配慮するのも他省の役目。だから経産省の仕掛けは後方支援との噂も。この際省庁間を横断する「少子高齢庁」を作る方が、スポーツ庁設立や五輪族増員より賢明かも？

弊社では「MCS NEWS WAVE のメール配信」を促進しております！！  
メールアドレスをご記入のうえ、0243-33-4467までご返信ください

メールアドレス

@

FAXの印字状況により、文字が読み取りにくい時は確認の為、当社よりご連絡をする場合がございます。

ご不要の場合または、該当者がお出でにならない場合は、FAXを返信頂ければ次週より配信を停止致します。